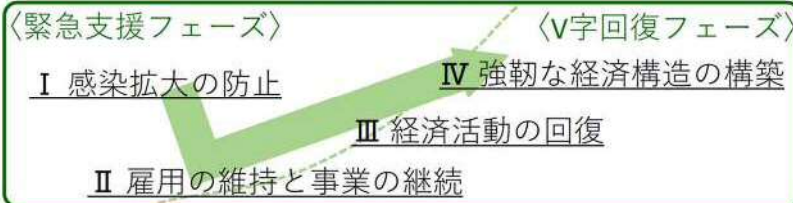


本市では「新型コロナウイルス感染症に対応した地方創生集中戦略」に基づき、「感染症の拡大防止」、「雇用の持続と事業の継続」、「経済活動の回復」、「強靱な経済構造の構築」の4つのステージの観点から新型コロナウイルス感染症対策事業を実施している。

■新型コロナウイルス感染症に対応した地方創生集中戦略の概要

集中戦略の体系

<コロナ経済対策4つのステージ>



<施策の方向>

I 感染拡大の防止

- 1 マスク・消毒液等の確保
- 2 情報発信の充実

II 雇用の維持と事業の継続

- 1 雇用の維持
- 2 事業継続に困っている中小規模事業者等への支援
- 3 生活安定のための支援

III 経済活動の回復

- 1 観光・運輸業、飲食業等に対する支援
- 2 地域経済の活性化

IV 強靱な経済構造の構築

- 1 社会的な環境の整備
 - (1)感染症リスク回避のための整備
 - (2)発熱外来の設置支援
 - (3)行政IT化
 - (4)新たな防災対応スタイルの構築
 - (5)感染症リスク回避のための学校施設等整備
- 2 新たな暮らしのスタイルの確立
 - (1)新たな時代に相応しい教育の実現
 - (2)地域公共交通の構築
 - (3)文化芸術・スポーツ等の創造発信
 - (4)リビングシフトへの対応
- 3 新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進
 - (1)農林水産業の強化
 - (2)新しい旅行スタイルの実現
 - (3)商品券・旅行券の活用

ステージⅠ 感染拡大の防止

6事業（うち臨時交付金対象事業：4事業）

講ずべき施策の基本的方向	具体的な事業	臨時交付金対象事業	総事業費	実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等
1 マスク・消毒液等の確保	新型コロナウイルス感染予防対策事業	○	5,630	①感染対策消耗品購入。 ②感染対策啓発リーフレット配布) ③インフルエンザ予防接種助成(65歳以下、妊婦) ④サーモグラフィ体温計購入	①マスク、パーテーション、消毒液など②感染啓発(自治会全戸配布+郵送4,406世帯) ③インフルエンザ予防接種助成2,128人 ④備品購入(サーモグラフィ体温計11台、電子血圧計1台、体温計測サーマルカメラ1台)	
2 情報発信の充実	新ホームページ導入事業	○	12,712	新たな市公式ホームページの導入	アクセシビリティ、ユーザビリティの向上	情報発信に係る職員の更なる意識向上が必要である。
2 情報発信の充実	LINE公式アカウント等運用支援事業	○	2,112	LINE公式アカウント及びFacebookの運用	LINEお友だち登録者数 6,042人(令和3年度末現在)	LINE全体の評価について、毎月実施しているアンケートによると、91%の方からとても良い、良いとの回答を得ている。
1 マスク・消毒液等の確保	避難所用新型コロナウイルス感染症対策備品購入事業	○	1,685	避難所用換気用大型扇風機購入(81台) 避難所用自動ラップ式トイレ購入(5台)	避難所における換気用扇風機や自動ラップ式トイレの設置により、新型コロナウイルス感染症対策の充実が図られ、円滑な避難所運営に資することができた。	避難所における新型コロナウイルス感染症対策として、収容人員の見直しや避難場所の確保等を図る必要がある。
1 マスク・消毒液等の確保	学校等における感染症対策等支援事業(小学校)			(R3→R4繰り越し)	(R3→R4繰り越し)	
1 マスク・消毒液等の確保	学校等における感染症対策等支援事業(中学校)			(R3→R4繰り越し)	(R3→R4繰り越し)	
合計			22,139			

ステージⅡ 雇用の維持と事業の継続

9事業（うち臨時交付金対象事業：6事業）

講ずべき施策の基本的方向	具体的な事業	臨時交付金対象事業	総事業費	実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等
1 雇用の維持	中小事業者管理コスト支援事業	○	45,030	令和3年4月26日から6月15日まで申請を受け付けた。	コロナ禍で経営持続に支障をきたしている事業者に対して、計259事業者に4,503万円を交付することができた。	コロナ前と比較して売上が減少している事業者が、多いことが改めて確認できた。
2 事業継続に困っている中小規模事業者等への支援	商工業振興資金新型コロナウイルス対策利子補給補助事業	○	6,413	令和3年4月1日から令和4年1月31日まで申請を受け付けた。	交付件数: 35件 対象融資額: 277,290,000円 助成額: 6,213,000円 (別途、商工会への事務費として20万円を支出)	コロナが長期化する中で、資金繰りに苦慮する事業者への支援ができた。
2 事業継続に困っている中小規模事業者等への支援	県営業時間短縮要請協力金給付事業負担金	○	13,760	令和3年8月20日から9月30日まで申請を受け付けた。	コロナ感染拡大による県の営業時間短縮要請を受け入れた市内117の飲食店に対して協力金の支給がなされた。	多くの飲食店から営業時間短縮要請に対する協力が得られ、コロナ感染拡大防止に資することができた。
2 事業継続に困っている中小規模事業者等への支援	国民宿舎特別会計繰出金		86,127	施設の運営	宿泊利用人数(8,799人) レストラン利用人数(30,466人) 宴会利用人数(1,843人) 温泉利用人数(79,958人) 全館収入(140,486千円)	コロナに加え、物価・燃料費の高騰も懸念され、事業存続に向け、指定管理料等による市の支援も必要になるのではないかと予測される。
2 事業継続に困っている中小規模事業者等への支援	コロナに負けるな！特別応援給付金事業	○	33,950	令和3年10月1日から11月30日まで申請を受け付けた。	売上が減少している302の中小企業者に対して、給付することができた。	コロナ禍で疲弊する事業者の事業継続に資することができた。
2 事業継続に困っている中小規模事業者等への支援	コロナに負けるな！特別応援給付金事業(宿泊施設分)	○	13,750	令和3年10月1日から令和3年11月30日まで申請を受け付けた。	市内宿泊施設(15施設)のうち、10施設へ合計13,750千円を交付した。	新型コロナウイルス感染症が終息するまでの間、市内宿泊施設の経営状況を注視する。
2 事業継続に困っている中小規模事業者等への支援	やっつくふるさと村指定管理料		27,145	指定管理施設運営収支のマイナス収支時に差額補填を行う。	対策を講じなければ、30,450千円の赤字決算の収支であったが、最終的に3,000千円の損失で抑えられた。	コロナの影響により、営業休止等を余儀なくされ、管理者として非常に厳しい運営を強いられた。支援を行ったことにより経営の継続が図られた。
1 観光・運輸業、飲食業等に対する支援	新型コロナウイルス感染症PCR検査費用助成事業	○	657	PCR検査費用助成 657,000円	市内医療機関実施分 42件 市外医療機関実施分 17件	
2 地域経済の活性化	産の郷(ふるさと交流センター)指定管理料		7,757	施設運営	施設利用人数(153,456人) 利用料金収入(27,710,047円)	コロナに加え、物価・燃料費の高騰も懸念され、事業存続に向け、指定管理料等による市の支援も必要になるのではないかと予測される。
合計			234,589			

ステージⅢ 経済活動の回復

7事業（うち臨時交付金対象事業：7事業）

講ずべき施策の基本的方向	具体的な事業	臨時交付金対象事業	総事業費	実施内容	成果（可能な限り定量的な数値で表示）	検証・課題等
1 観光・運輸業、飲食業等に対する支援	中小事業者設備投資等支援事業	○	1,986	令和3年4月1日から令和4年1月31日まで申請を受け付けた。	市内の24事業者に対して、店舗等改修費及び備品消耗品費として、1,986,000円を補助することができた。	コロナ禍における新しい生活様式への対応ができていない事業者に対して、支援することができ、事業継続等に資することができた。
1 観光・運輸業、飲食業等に対する支援	貸切バス旅行誘致事業	○	6,246	貸切バス運行時における費用補助	申請件数(64件) 補助金交付バス台数(100台) 宿泊加算対象人数(1,813人)	移動制限により、県内の学校をはじめとする教育旅行の大幅増に繋がり、市内飲食店、宿泊施設、観光施設への経済波及効果が見られた。このことにより、特に薩摩半島における本市の認知度向上に繋がった。
2 地域経済の活性化	誘客促進特別支援事業	○	25,000	フェリーさんふらわあが行っている料金プランの運賃割引を実施。	キャンペーン期間中に約6,930人の利用があり、年間乗船客数がコロナ禍以前の約60%まで回復。	本キャンペーンの実施により一定程度の乗船客数の回復が図れてたことで効果のある事業であった。
1 観光・運輸業、飲食業等に対する支援	キャッシュバック志布志キャンペーン事業	○	23,489	令和3年11月1日から令和3年11月30日まで申請を受け付けた。	キャッシュバックキャンペーン利用者(3,098人) 観光特産品協会オンラインショップ登録者(1,160人)	新型コロナウイルス感染症が終息するまでの間、市内への観光入込客の動向を注視する。
2 地域経済の活性化	有害鳥獣捕獲特別強化事業	○	7,563	志布志市有害鳥獣捕獲対策協議会で捕獲わな、無線式捕獲バトロールシステムを購入し、猟友会に貸与するとともに、イノシシの交尾期、妊娠期間である猟期間中に猟友会による各地域での一斉捕獲を実施。 また、被害防止施策及び安全対策のため、鳥獣被害対策実施隊初動活動に対する支援を実施。	一斉集中捕獲期間： 令和4年2月7日から3月6日 捕獲頭数：112頭 （うち妊娠中個体：12頭）	捕獲わな、無線式捕獲バトロールシステムを購入し、猟友会に貸与することにより、設置わなの増設及び巡回頻度を減らし、猟友会の負担軽減・費用抑制・活動率の向上が図られた。 また、猟期における集中捕獲実施においては、期間中の捕獲頭数が112頭であり、うち妊娠が確認できた12頭を含めると約200頭の個体数を減らす結果となり、モデル的な取組ができた。
2 地域経済の活性化	テヨイソコしぶし運行事業	○	14,564	令和4年1月から市内全域へ運行を拡大した。	運行エリアが市内全域となったことにより、市内各血の住宅地停留所（ゴミステーション）と公共施設停留所、事業所停留所が結ばれた。これに伴い利用者の移動範囲が拡大し、利便性が向上した。	有明地域、松山地域では利用者が少ないため、説明会等を実施し認知度向上を図ってきたい。
2 地域経済の活性化	新橋地区定住促進住宅用地整備事業	○	18,210	松山（新橋地区）定住促進住宅用地整備事業	3区画の分譲地造成完了 ①619.30㎡ ②502.37㎡ ③619.23㎡	令和4年度 嘱託登記 販売単価決定し販売開始
合計			97,058			

ステージⅣ 強靱な経済構造の構築

14 事業（うち臨時交付金対象事業：11 事業）

講ずべき施策の基本的方向	具体的な事業	臨時交付金対象事業	総事業費	実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等
1 社会的な環境の整備	地域子ども・子育て支援事業(新型コロナウイルス感染症対策)	○	6,359	感染症に対する強い体制を整え、児童クラブ等の運営を継続的に行うため、マスクや消毒液、感染防止用の備品購入に必要な経費を補助する。	—	—
1 社会的な環境の整備	車両更新事業(道路作業班感染予防対策)	○	5,219	軽トラックの購入(4台)。	道路維持作業の効率化が図られた。	—
1 社会的な環境の整備	乗用芝刈機購入事業	○	3,339	市内5中学校区へ乗用芝刈機、アルミブリッジを配置した。	乗用芝刈機導入により、学校職員の除草作業等の時間短縮及び負担軽減に繋がった。また、校内美化活動においても、密を避ける等の感染症対策を徹底することができた。	特になし
1 社会的な環境の整備	発熱外来診療体制整備支援事業	○	5,655	医療機関に、補助金交付。5,655,000円	市内13医療機関	—
1 社会的な環境の整備	RPA及びAI-OCRモデル業務導入事業	○	5,337	各課導入希望調査を行い、高い効果が見込まれる業務を選定し、各課ヒアリングを実施しながらシナリオ作成を行った。 実施業務として、AI-OCRからRPAへと運動した取り組みについて、就学援助登録業務、給与所得者異動届出書の入力業務、特定健診・各種がん検診希望調査入力業務のシナリオを作成し、RPAのみの業務として、財務会計システム支出伝票起票業務、AI-OCRについて、放課後児童健全育成事業、税務関連書類(利用者識別番号)新規入力帳票で読取設定を行った。	職員研修 2日間 RPAモデル 5業務 AI-OCRモデル 6業務	RPAについて、検索が必要なものやリストからの選択、対象による入力項目の違いなど、煩雑になればエラーの割合も多くなることから、一連の業務全体ではなく業務時間の多い部分に絞って導入することとした。 AI-OCRについて、細かい枠や枠外へのはみ出し、書式の不均一、項目が多いもの、文章や桁数が多いものはエラーチェックに時間を要することから、導入段階での書式見直しを検討する必要がある。
1 社会的な環境の整備	学校給食センター空調設備改修事業	○	55,924	調理場内の温度及び湿度の高い部屋に空調機器を更新及び増設した。	事業を実施することで、調理員の熱中症対策及び食品の安全管理も図られた。	今後、その他の部屋の空調も老朽化により更新の時期がくるため、財源確保が必要である。
2 新たな暮らしのスタイルの確立	スマートフォンアプリ「スポーツタウン2021プログラム」利用事業	○	898	ウォーキングの距離等が自動記録されるスマートフォンアプリの使用	市民187名が登録し、登録者が参加できるウォーキングイベントを開催し、市民の健康増進、体力向上が図られた。また、イベント時以外でもランキングが表示されることから、日常の運動に対する意識の向上が図られた。	アプリの登録がうまくいかないという声もあり、高齢者でもアプリの登録が簡単にできるように、業者と連携していく。
2 新たな暮らしのスタイルの確立	天然芝パーチカッター、マルチ散布機導入事業	○	2,408	天然芝生グラウンドの維持・更新作業に必要な天然芝パーチカッター及びマルチ散布機の購入	購入した機器を使った管理により、作業の効率化が図られた。また、年間を通して良好な状態が保たれている。	—
2 新たな暮らしのスタイルの確立	GPS自動ライン引きロボット導入事業	○	6,270	サッカーコートのラインを自動で引くことのできるGPSライン引きロボットの購入	購入後、13回使用し、人員、作業時間の削減ができ、効率化が図られている。	—
2 新たな暮らしのスタイルの確立	移住・交流支援業務委託事業	○	7,980	移住交流支援センターの運営	移住相談数:74人	出合い支援等のコンテンツを増やし移住交流の要として一層の充実を図る。
2 新たな暮らしのスタイルの確立	SDGsアイデアブック制作事業	○	1,027	SDGsアイデアブックの制作	発行部数600冊 (配布先:志布志高校、尚志館高校、市内小中学校、図書館、包括連携協定締結企業、鹿児島大学、鹿児島県立図書館等)	一過性の取組とならないよう、冊子の活用やSDGsの推進を引き続き行っていく必要がある。
3 新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進	農業経営収入保険加入推進事業	○	10,654	関係機関と連携しながら、農業経営収入保険の推進を図った。	151名が(新規加入者44名、継続加入者107名)申請。	収入保険の加入要件として青色申告が必要であるため、関係機関と協力しながら青色申告の推進を図る必要がある。
3 新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進	鳥獣害防止対策事業	○	886	電気柵の資材購入に対する補助	電気柵資材購入費の1/3以内(上限25,000円/台) (1) 補助対象者数 28名 (2) 補助対象台数 54台 (3) 設置地域 ア 有明地区 31台 イ 志布志地区 16台 ウ 松山地区 7台	有害鳥獣による農作物の被害防止対策として、電気柵の資材購入に対する支援をしたことにより、有害鳥獣対策の一つである侵入を防ぐ取組の強化ができた。
3 新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進	ダグリ岬遊園地遊具自動券売機整備事業	○	1,265	ダグリ岬遊園地内の自動券売機設置	遊園地利用者数(42,617人)	人と人との接触を避けながら入場券を購入できる新型コロナウイルス感染防止策として効果があった。
合計			113,221			